



セイコーウオッチが発売する「触読式」腕時計の新モデル

セイコー、目の不自由な人向け 「触読式」腕時計 25年ぶり刷新

セイコーウオッチが、目の不自由な人が文字盤を直接触って時刻を判別する「触読式」腕時計のデザインを1995年以来、25年ぶりに刷新することが3日、分かった。新モデル5品を11日に発売する。障害者の社会参加を含む国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」実現を意識した声が社内でも上がり、刷新に取り組んだという。

採算度外視で販売していた背景から、長年デザインは変更していなかった。障害者団体への聞き取り調査で「おしやれな時計を身に着きたい」との意向があり、各所に最新のトレンドを取り入れた。金色を主とした色使いを見直し、ピンクの文字盤やボルドー色の革バンドを採用した女性向けモデルも投入する。

価格は1万4千円（消費税非課税）に据え置く。10万円を超える腕時計と同じムーブメント（駆動装置）を採用しつつ、社会貢献と位置付けて価格を抑えている。触読式の腕時計は文字盤のふたを開け、針の位置で時刻を確認する。触っても針がずれないようにし、汗に強くする必要もある。



シチズン時計の視覚障害者向け腕時計

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① 刷新の取り組みは国連の何の実現を意識したのでしょうか。

 ()

② 触読式の腕時計はどのように時刻を確認しますか。

③ 女性向けモデルで新しく取り入れたところはどこですか。

④ あなたが作るとしたらどんな工夫をしますか。